

医学教育センターニュース

令和4年12月 Vol. 53

あっという間に本格的な冬が到来しました。宇部市でも例年より早い初雪が見られ、急な厳しい寒さに体調を崩される方も多いかもしれません。こたつに入って温かい飲み物や鍋でホカホカしたいものです。。。来年こそは温かい年になりますように皆さま、良いお年をお迎え下さい。



医師への第一歩～白衣着衣式～

12月16日(金)、臨床実習1(ポリクリ)が始まる医学科4年生(118名)に白衣を贈る白衣着衣式が開催されました。白衣着衣式は、これまで講義と実習で学んできた学生が臨床実習に入る前に行う節目の儀式です。[学生らはStudent Doctorの認定証と白衣を渡され、式に臨みました。](#)昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の列席はなく、ライブ映像の配信を行いました。篠田医学部長からは「[感謝を忘れずに](#)」、杉野病院長からは「[自信を持って](#)」との激励のお言葉がかけられ、本年も霜仁会(福田会長)から寄贈された真新しい白衣に袖を通しました。代表の学生が「[本日いただいたこの白衣に恥じぬよう、医療人となることの責任と使命の重さを忘れることなく、日々の実習に真摯に取り組むことを誓います。](#)」と誓いを立て、これから始まる臨床実習に向けて決意を新たにしました。



リサーチマインドを大切に～自己開発コース報告会～

山口大学医学部のカリキュラムの大きな特徴として『自己開発コース』があります。学生自らが見いだした課題の解決に向けて、研究や社会活動に自主的に取り組み、最終的に一つの形にまとめ上げる一連の学修コースです。12月19日(月)～20日(火)、本学びの半年間の成果を発表する報告会が開かれました。

難解な学問体系や、慣れない実験手技等に初めは戸惑っていた学生も、半年間どっぷりと研究の世界にのめり込み、報告会では立派に発表を行っていました。トライアルアンドエラーを繰り返すことの大変さや、それを乗り越えた後の達成感を味わう貴重な経験となったことだと思います。自己開発コースの終了後も、各講座に顔を出して研究を行う学生もいます。このようなりサーチマインドを、生涯持ち続ける医師になって欲しいと思います。



頑張っても結果が出ない医学生には… 【FD研修会開催】

医学教育センターでは、年に5回程度FD研修会を開催しています。FDとはFaculty Developmentの略で、教育機関における教職員の意識改革とともに実践的なスキルアップを目指した組織的かつ自発的な取り組みを指します。カリキュラムやシラバスなど学内の教育コンテンツに関する講習会の他、外部講師を招いて医学教育に関する興味深い研修会を企画しています。

今回は、藤田医科大学医学部医療コミュニケーション学の藤江里衣子先生を講師に迎え、「頑張っても結果が出ない医学生」を発達障害・記憶のメカニズムから考えるというタイトルでご講演を賜りました。11月1日(火)に医学科教員FD研修会として、オンラインで開催し、多くの先生方にお集まり頂きました。藤江先生は心理学のご専門で、最近では、心理学に関する豊富な知識を生かし、医学生に対する心理サポートを行うことで、医学教育において重要な役割を担っておられます。ご講演では、記憶のメカニズムを心理学的視点からご紹介頂き、その上で、頑張っても点数がとれない医学生の中で何が起こっているか、そしてどのような勉強法を提案するとよいか等について、詳しくご解説頂きました。

質疑応答では、「厳しい受験戦争を乗り越えて医学部に入学できた学生はどうして大学で結果を出せないのか」との疑問に対し、「大学受験では予備校の勉強の仕方が身について、自分で学ぶ力がついていない。」と、受験勉強の苦しい現状も指摘されました。すぐに解決することのできない難しいテーマですが、様々な背景を持ち、それぞれ違った「つまづき」をしている学生に、一人一人丁寧に寄り添うことが重要だと感じました。



尚、FD研修会は年1回以上の出席が必須となっています。今回の講演会も含めたFD研修会の動画は、電子シラバスeYUMEの『動画配信(教員専用)』からいつでも視聴可能ですので、教員の皆様、是非ご視聴下さい(学内からのアクセスに限ります)。動画へのアクセスログにて、出席とカウントさせて頂きます(動画を見た旨をご報告いただく必要はありません)。

★eYUMEホームページ→ <https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2022/>



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747
E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp